

井原議員（広志会）

平成 29 年 9 月 22 日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）小中一貫教育を進めていく意味について（再質問）

教員の能力が問われる部分が多分にある。昨今の教員の教育力・指導力について所見を伺う。

（答）

ただいま本県では、全国に先駆けて、「学びの変革」を進めております。これはまさに知識ベースではなく、更にコンピテンシーをベースにした教育を進めていこうということで、子供たちの主体的な教育を進めております。

本県は、これまでの経緯として、基礎・基本が非常に重要であるという取組の中で教職員がしっかりと力を出して、力を付けてきました。

全国の中でも本県の学力の定着状況は、平均以上にあると捉えておりまして、本県の教員の指導力は全国に比べて、優れていると考えております。そのようなことをベースにしながら、子供たちが主体的に学べる、学んでいくというコンピテンシーをベースにした教育が推進できる力を有してきていると考えております。